三和新報

日刊(除日曜・祝祭日)第172号 平市大丁目三和新報社発行 電472
支社・支局―東京支局・湯本支社・内郷支社・小名浜支社
11月24日　(1ヵ月50円)
(昭和29年6月17日第三種郵便物認可)

内郷で「光の歌」上映

内郷市の「光の歌」映画会は十二月一日午後六時から浅野記念館でひらく、主催は福島整肢療護園後援会

平市役所にアドバルーン

平市では六万円で宣伝用アドバルーンを購入、市役所わきの新川べりに掲揚場をつくる、競輪および四季の行事宣伝、納税思想普及などに利用するもので、広告文字板格納庫もつくる予定

カメラ供養

常磐市シャツテングルツペでは十二月五日午前十時から磐崎白鳥鉱泉附近で撮影会をひらいた後喜楽屋でカメラ供養を行う

平連合消防団閲団式

平市連合消防団の閲団式は二十三日午前十時から三十米道路南端に千五百名の団員が集つて行われ諸橋消防長の挨拶、閲団のあと平商校庭で規律訓練を行い堂々の偉容をみせて十一時半に散会した

中卒の就職協議

平職安所、石城職家研究会共催の三十年度三月新制中学卒業者の就職促進協議会は二十六日午前十時から平市公会堂日本間で開き最終就職斡旋態勢について協議する

あわただし政界人の動き

◇◇◇◇

吉田の退陣は必至

総辞職、緒方内閣出現

関内代議士帰平談

関内正一代議士は大野総務会長らと今後の態度につき協議二十二日夜、帰省したが「吉田首相の引退は必至である」と前提し、次のように語つた

「ゆうべ大野総務会長と会つて懇談したが吉田首相の引退は必至の情勢だ、財界は解散を忌避しているのでそれには吉田首相が引退して内閣総辞職に持つてゆくよりほかにない、次期総裁は緒方氏が決定的である、かくて首班指名となるが、社会党は左右合せて百二十五名、新党の日本民主党が百名内外、自由党が百八十名となるから日本民主党が敗れて自由党と社会党の決戦投票に持ち込まれる公算が大きい、この場合、日本民主党がどのような態度に出るか、まさか社会党には投票できまいから緒方内閣の出現の可能性が多いのではないかと思う、この際、もし、鳩山さんが留まつていたら、当然鳩山内閣が出来たのだが、鳩山さんのために惜しまざるを得ない」

石城の県議は本流

微妙な立場の蓮沼、馬目県議

自由党の地すべり的分裂は本県政界にも大きな衝撃を与えているが平市、石城選出の県議は蓮沼議長をはじめいずれも自由党本流に留まる模様である、この政界異変により蓮沼、馬目両県議は同志として親交深い高木代議士に対し、表面的な応援は出来ないという微妙な立場をとらざるを得なくなつた

高木代議士有志と懇談

地元では新党入党を了承

高木代議士は二十二日夜、平市甲陽館で双葉選出佐々木智県議、強口唯七郎市議ら同志五十名と会い「自分の政治信念からすればこの際新党に入党したい」旨の意思表示があり、高木代議士退席の上、強口唯七郎氏が議長となり二時間にわたり論議があつたが結局「代議士の意志にまかせる」ことになつた、なおこの会合には蓮沼議長は県議団の態度が決定しないため出席しなかつた

問題は小野(一)氏の進退

改進党の解党によつて三区から出馬していた小野一雄氏(植田町)は当然新党に流れ込むことになるが次期総選挙には三区では高木代議士の公認は確定的なので小野氏の進退が注目される

なお小野氏は本部と打合せのため急きよ上京した

菊地、小池保釈

殉国青年隊のリンチ事件にからみ傷害および銃砲刀剣等処罰に関する法律違反容疑で平拘置所に拘留中の元同隊県支部長菊地三良(三四)―平市三丁目―同現副支部長小池泰史(三九)は二十二日保釈された、菊地は二萬円、小池は一万五千円の保釈金を積んだもの

製材工場焼く

二十二日午後八時四十分ころ平市梅カ町製材業阿部唯次郎さん(五八)方工場から失火七十五坪を全焼して九時四十分ころ鎮火した、損害約三百五十万円、原因はふいごの火の不始末、失火罪容疑で二十三日書類送検

産業文化祭盛會裡に終る

二十一日フタあけした第五回磐城産業文化祭は盛況裡に二十三日幕を閉じた、最終日の二十三日は祭日と天候に恵まれて平市内始め近郷近在から約七萬の人がドツト押しよせ各会場とも押すな押すなの超満員ぶりにスリや落し物、さては迷子までてて平署に泣きつく人も多く、デコ市や商店街の売行きも上々の成績、午後から市役所と地方事務所で出品入賞者の表彰式を行い三日間にわたる祭典は無事終つた

開花亭に農林経済局長賞

第四回福島県農業共進会は十一月八、九、十の三日間福島市で行われたがパンの部に出品した平市開花亭パン店は農林経済局長賞を獲得市川パン店は優秀無審査だつた

スリ　二十三日午前中平市三十米通りでこ市で買物中、上小川村上小川字後原農業草野モトさん(五九)は四千百八十円、また平市中塩字沖無職大和田幸子さん(三八)は二千八百五十円をスラれた

木炭ドロ　平署では二十四日秋田市川尻町無職朴至烈こと中村三郎(三九)を窃盗現行犯でつかまえた、中村は二十四日午前六時十分ごろ平駅構内から木炭二俵を盗んだもの

派出所に空気入れ

内郷署では毎夜「自転車の空気入れを貸して下さい」と訪ねてくるものが多いので二十五日から市内派出所宮、金坂、住吉、白水、御厩の五カ所に空気入れを備えつけ無料サービスを行うことになつた

トラック、機関車に衝突

きのう小名浜で、一名重傷

二十三日午後四時ころ磐城市林の上地内小名浜臨港鉄道宮下駅踏切で同市下町磐城貨物小名浜第二営業所トラック―運転手古川光雄(三〇)―と午後三時五十分泉発小名浜行ヂーゼルカー一〇三号―運転手笠原明(三五)乗客約三〇名―が側面衝突、トラックは二十米ほど引きずられて運転台、フアインダーなどを中破、同乗の茨城県久慈町漁夫宇佐見佐七さん(三〇)は三週間の重傷を負つた、ヂーゼルカーはエアパイプを破損した、ヂーゼルカーの進行に気づかなかつたもの

大野に愛の比翼塚

不思議な予言やトランプ占い

天國に結ぶ二人の戀

既報―結婚式を間近にひかえて病死した婚約者のあとを追うように心臓マヒ(既報脳溢血は誤り)で急死した悲恋のヒロイン平市平窪真似井F女(二一)の葬式は親たちの思いやりで十四日午後婚約者の平市桜町M君(三五)宅から出棺されM家の菩提寺大野村駒込のお寺にMの墓と並んで埋葬され「天国で結ぶ恋」の比翼塚は会葬者たちの新たな涙をさそつた、F女は昨年春平商高を卒業した明朗な美ぼうの持主で在学当時はソフトボールの主戦投手として活躍、長身からくり出すスピードボールは〃ソフトボール平商〃の黄金時代を築く原動力となつた、いつか大浦村最勝院から通勤していた阿部先生がFさんの手相を見て「若死の相がある」と予言したもの、クリスマス会のトランプ占いでFさんの間近には幸福が待つているがすぐに大きな不幸がやつてくる、そしてまた幸福がおとずれると出たのも何かの因縁で占いはこの世で結ばれぬ不幸が天国で結ぶ恋でハツピーエンドとなることを暗示していたのかも知れないと比翼塚にぬかずく学友たちは在りし日の想い出を語り合い運命のはかなさを歎いていた

簿記講習会

常磐市湯本公民館の青年学級簿記クラブ活動は毎週月、金の両日午後六時半から行う、科目は簿記概論、講師は二瓶俊雄氏

大ぴんぴん

土産展で大人気

平市銀座通り松月堂では直経一尺の大ぴんぴんを産業文化祭みやげ品展に出品人目をひいた

小堀に死刑求刑

田人村南大平教員小野万里雄さん方雇人小堀明(三〇)の殺人事件求刑公判は廿四日午後二時から大竹裁判長、横地検事、真木弁護人立合で地裁平支部で開き横地検事から死刑の求刑があつた、判決は十二月八日午後一時から

ミシンはハツピイ
緑の小山で

城坂踏切設置を陳情

請願料支拂い回答は保留

平市会跨線橋特別委員会は二十二日平市役所で開かれ水竹委員長が「私の提案した城坂踏切を廃止して跨線橋を作る案がさきの市会で三名にしか支持されなかつたのでこの際辞任したい」と申立てたが委員会はこれを認めず新たに真木氏を副委員長に推しさらに正副委員長、強口、鈴木(寅)、忠井五氏による小委員会を設けてあくまで存置運動をおし進める事になり今月末に水戸および本省に陳情することになつた、なお国鉄から要求されている百四十五万三千余円の請願料支払いは回答を保留することになつた

開廃激しいパチンコ屋

中小企業開廃調べ

平商工会議所では十月中の中小企業開業廃業状況を調べていたがこのほどまとまつた、それによると開業は十二件で内訳は閉鎖炭鉱の再開二件、小売業、飲食店各一件その他八件となつておりパチンコ屋が大部分、また廃業は十四件でうち八件が資金難で倒産しておりほとんどがパチンコ屋である、このところ開業と廃業が入り乱れパチンコ屋の流動が最もはげしいその他、飲食店二件、卸売及び小売業四件、瓦業一件となつている

ぼんそあーる

私しや無罪でありんす

○…常磐署の捜査陣はこのところ快調で事件発生以後一時間以内のスピード検挙が続き気をよくしているが十八日にも舞い込んできた雀を三十分で逮捕、余罪を追求したところ前科なしとわかつたのでメシを与えてすぐ釈放した

盛況御禮

大黒屋平支店開設三十周年記念感謝大売出しには皆様の絶大なる御支援を賜り盛況裡に終了致す事が出来ました　深く御礼申上げます　せつかく御来店を仰ぎながら当店は　店頭店内無前の混雑に取紛れ諸事不行届にて失礼の数々ひらに御詫び申上げます

何皆様の利益を護る店大黒屋は正しい商議道を通して更に皆様の衣料生活費の引下げに努力致す覚悟でございます　何卒幾久しく御引立の程ひらに懇願申上げます　先づは盛況御礼まで

大黒屋　平本店　平支店
社長　馬目勝次郎　外従業員一同

近火御見舞御禮

廿二日夜近火の際は早速御駈け下され消火に御尽力を賜り且つ御見舞を辱うし誠に有難度うございました
混雑中の折柄御尊名御伺い洩れもあることと存じ略儀乍ら紙上を以て厚く御礼申し上げます
昭和廿九年十一月二十四日

平市立平第二小学校
平第二小学校ＰＴＡ

近火見舞御禮

二十二日夜近火に際しましては早速御駈けつけ下され且御見舞を賜わり誠に有難とう御座いました、混雑致しておりましたので御尊名もれもあると存じますので取敢えず紙上を以てお禮申し上げます

常陽銀行平支店長
川崎英夫
平市鷹匠町五

盛況御禮

十九日から二十三日までの五日間当社の新築一周年記念大賣出し期間中に際しましては御顧客の絶大な御支援によりまして盛況な催しをさせていたゞきましたこゝに厚く御禮申上げます
なお期間中店内が予想外混雑致しましてご顧客に多々御迷惑をおかけしたこと存じますのでこゝに謹んでおわび申上げ今後も御指導御ひいき下る様御願い致します

平市三丁目
株式会社　鈴藤
社長　鈴木藤太郎
専務取締役　鈴木隆夫

新髙のパンとケーキ
常磐市　電二三六

ピツタリと
お気に召すこと
うけ合い!!
正札堂洋服店
平市大通り

へき地のお友達に贈物

平一小六年のよい子たち

議書週間中に古雑誌類を不便な山間地のお友だちに贈り感謝されているよい子たちがいる

平一小六年二組（担任新妻憲司先生）のよい子たち六十四名は読書週間中にどんなことをしようかと相談したところ学級文庫の古雑誌が山となり一部破損したものは古物商に売り払つてまた新しい本を買つて読んでいたが破損のひどくないものでみんなが読みあきてしまつたものもあるので本を買うにも不便なお友だちに贈つてやつたら喜ぶだろうと相談がまとまり、新妻先生にお話して早速川前小学校神楽山分校、三阪村差塩小学校貝泊小学校におくることとなりふくらむ胸をおさえながら四日小包にして郵便局を訪れた、ところが重量超過で受付けられぬという、先生も一緒になつてたのんだが規則の綱はピンと張られたままどうしても乗りこえられず折角の気持ちをふみにじられたようにすごすごとひきかえすより仕方なかつたしかし自動車なら何とかなるかもしれない、皆の眼に再びこみあげてくる希望に活気づいた「ダメダ」とことわられはしまいかと不安におののきながらも－「皆さんの真心はよく分りました、それなら無料でたしかにお届けいたしましよう」常磐交通第二営業所業務課の中でよい子たちは踊りあがつて喜び親切な小父さんを囲み何度も何度もお礼をいつた

神楽山から、差塩からまた貝泊の小学校からも毎日のようにお礼の作文や絵が送られ毎日楽しみはふえてゆくばかりである、十九日も一箱の荷物がとゞいた作文と一緒に貝泊小学校のよい子たちが裏山をかけめぐりながら丹念に集めた美しい紅葉が一杯つまつている－宝箱－宝箱はボクたちだけものではない、一年生にも二年生にも－よい子たちの美しい心は秋空のようにいつ果てるともなく美しくすみひろがつてゆく

ねずみ退治協議

内郷市保健委員会は二十日ひらき二十一日から全市一斉に開始したネズミ退治について協議した結果平太郎、宮町台、入山の三地区七八〇戸をモデル地区に選び棲息状況世論調査、ネオメスト入りダンゴ配置個所喫食調査、死亡発見調査などを行うことをきめた、なおその他の地区では死ソ発見調査を行うが捕獲した学童に対しては報告することになつた

内郷、学校教育研究会

内郷市校長会、同教育委員会など主催の学校教育に関する講演会は二十二日午後一時から内郷市内町小学校に市内小中高の教職員を集めて開いた

少年犯罪防止対策協議

内郷署では二十四日午後一時から会議室に市内各種関係代表六十名を招き少年警察モデル地区審議会をひらき少年犯罪防止指導対策などについて協議した

商業診断報告

内郷市役所では二十九日午後一時から公民館で去る八月二十三日から五日間にわたつて行つた専門店商業診断の報告会をひらく

今夜の映画（二四－二五）

◇聚楽館　（二三－二二）豪傑カサノブア　麗しのサブリナ

◇世界館　継母　荒城の月　三日月童子（二部）

◇平　館　潮騒　地獄への復讐

◇民　劇　和蘭囃子　南海の情炎　怪傑鷹（三部）

◇ひかり座　殺人者はバッチをつけていた　カーニバルの女

◇第二いわき　（二四－二八）悪の愉しさ　落語長屋お化騒動　迷探てい出動

◇緩映劇　（二四－三十）二十四の瞳　悲恋まむろ川　力道山大いに怒る

誰が笑うか

春日信一

本紙上の津村氏の最初の「提案」をめぐつて、石城文学の不毛性についての論争が、どのように展開されるか、多少の興味を持つてその推移を見守つていたのだが、白根氏の「津村氏に問う」I紙の片口氏「磐城文学はないということ」と、これらの意見が出て、このへんでちよつとひとやすみというところにきたようだ。

三者三様にそれぞれの立場によつて語つているが、肝心の焦点はいつのまにか薄れていつてしまつてるのではないか、言つてみれば「それならどうしたらいいというのか」という単純な疑問が残るばかりである。

津村氏は、石城地方の文学愛好者に、近代文学の根本を問うことつまり「近代文学の発想の場」に対する認識の空白を指摘されるとともに、これを埋めるものとして日本近代文学史の再受取りの必要性を言われたのだが、これは最も重要な発言だつたし、このことについてはあとの二氏も当然のこととして認めておられるようである

白根氏はこれに対して、石城地方のいわゆる「作家」なるものの存在を否定し、各地に真剣な努力を重ねつつある少数のグループの熱意のみが、この空白を救うものとなるだろうと、眉をあげて言外に自らその一員たる自負を歌われた。

更に片口氏は、環境を作り出す努力をせずに、石城文学の不振を論ずることの愚かさを説き、発表機関を持つことの重要さ、その一つの試みとして、地方新聞の紙面の開放等を提言された。

ここに至つて、論争は悪循環の様相を示してしまつたから、一応整理してみることが必要になる。

最初の津村氏の提案は、単に石城地方に限らず、広く文学を受し志すものの一般的な心構えとして反省を、促すことを意味したのだろうし、又白根氏の言われる通り少数のグループの真摯努力は確かに重要で、これこそ輝かしい将来をもたらすのであるかも知れないのだが、そのグループのなかにさ[illegible]りがちな独善性を鋭く衝いたものではなかろうか。これを除外しては、片口氏の言われる文学的環境の育成もありいないと思われる。ただ津村氏の語調が余りにも激しく性急であつたため、不要の反感を買つて、真意を汲み取つてもらえぬこととなつたようである

ここで僕は、どうやら気がついた。これは－この論争は、結局最初に石を投げた津村氏の計画にまんまと落ちこんだのではないかと

しかし、それでもいい、この論争にあらわれた三氏は、いずれも相当に毒舌に長じておられるようだが、毒舌ばかりではなにものも産み出せないことを、無言の読者は知つているだろうから。

なにを言つたところで、どうなるものでもない、僕たち自身、或いは僕たちの身近なつながりのうちにひそんでいる排他性、事大性、そうしてあわれな自己陶酔性を否定し得ないならば－。

僕は三氏におたずねしたい、不遇をかこつ作家や、同人雑誌の一二は、あつてもなくてもいい。近代文学の発想の場を認識することが深くてお浅くてもいい。大切なのは、ただ僕たちの心の問題なのではないだろうか、近代に生きるものとしての。これは抽象の理論ではないのだ。うまく言えないけれど、身のまわりをふりかえつて思想や信仰の如何を問わず、立場や年齢を超えて、ただこの暗い現実の壁をみつめることから出発して、この壁に窓を開けること、暖い協力ときびしい反省のなかで、僕たちのみんなが誠実に手をにぎり合うことができないかぎりは、依然たる封建のわくから脱けでることの努力なしには、ここ－石城とのみいわず僕たちの住むこの土地－は、いつまでも、文学ばかりでなく芸術とやがては文化への後進性と不毛を誇るばかりだろう。

「最後に笑うものが、最もよく笑う」という。果して誰が笑うだろうか？

ここまでで投函しようとしたところへ、I紙にまた二つ、真尾氏と片口氏が論陣を張られた。しかし、これではまるで笑話になりそうではないか。議論はいい、ただ焦点は完全に薄れてしまつた。もう一度、最初の出発点にもどらねばならぬ。

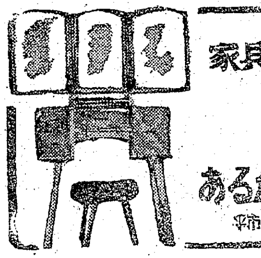
このままでは誰が笑うかではなくて、誰でも笑うのではなかろうか。

乗心地のよい
最新式
大型車二輛入荷
外に中型六輛小型五輛
御用命を御待ち申上げます
常磐交通
タクシー部
TEL1076

毛布
いつも良い品
中野洋品店
平二、電五三

映画は大映
思う人とは結ばれず　思わぬ人に思われて
古城に淡き月の夜をさすらう影さえ涙ににじむ
原作川口松太郎
平凡連載
荒城の月
若尾文子　根上淳　八潮悠子　船越英二
星ひかる（市川春代）
見明凡太郎　東野英治郎
清水将夫　蔵方しげる
監督　枝川弘
継母
義理ゆえに愛ゆえにたどる悲愁の母航路！
折原啓子　田代百合子　松島トモ子　月丘千秋　三宅邦子　宇佐美諄
"笛吹童子"姉妹篇
三日月童子（第二篇）
息をのむ冒険と離れ業
熱狂の昂奮、波乱多彩の第二篇
天馬空を征く（第二篇）
東千代之介　千原しのぶ
24▶30日三本立　世界館

東宝
昭和二十九年度
芸術祭参加
作品！
雄大な黒潮と緑の孤島に
画かれた美しき自然のロマンス
潮騒
原作　三島由紀夫
監督　谷口千吉
久保明　青山京子　宮桂子　三船敏郎
地獄への復讐
愛と正義に火を吐く凄まじい！鉄拳の嵐！！
三橋達也　山内明・滝崎一郎　浅茅しのぶ・淡路恵子　堺駿二・須賀不二夫
24日より　平館



家具と漆器
あるか家具店
平市　銀座　電223番

ラジオと電機器具
ユタカ
湯本横町

百合
革袋
百合

眼鏡専門
レフラクトメーター完備
玉屋
平市二丁目　電910

巴里
社交ダンス
平6

銘菓
おきな八重
桃の井
平市一丁目
金沢屋
電327

囍囍囍囍囍囍囍　囍囍囍囍囍囍囍
銘菓
創立五十年
平餅（じゃんがら）
平市田町銀座街　TEL206
松月堂